充実した県外視察 in 川崎

県外教育関係機関研修に行ってきました

6月27(水) \sim 29日(金) に、21名の上伊那教育会会員が参加して、神奈川県川崎市立川崎小学校、川崎市立川崎中学校の視察研修に行ってきました。2校の教育実践を実際に目にし、他校から多くのことを学ぶとともに、上伊那の教育を振り返ることができました。

川崎小学校 ◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

吉新校長先生(現職5年、再任用3年)が8年間かけて積み重ねてきた、汎用的な資質・能力を育成する主体的・対話的で深い学びをめざして、話し合い活動を軸とした授業づくりの実践を通して大きな成果を上げている学校です。

- ◎どの学年・学級においても共通性と一貫性のある教育を実践していく。
- ◎これからの時代に必要となる汎用的な資質・能力を日々の授業で具体的に意識して育んでいく。
- ◎話し合い活動を軸としてお互いがかかわり、助け合い、認め合っていくことのできる学級集団をつくる。

吉新校長先生の教育理念が各教室で日常的に具体的に展開されていることに大きな感銘を受けました。相互指名で、子ども達が授業を創っていく姿、疑問や質問内容について意欲的に追究する姿、必要に応じた教師の出、学習内容の振り返りやまとめを子ども達が意識して行っていく様子、汎用的な能力についての教師の評価が確実に行われている姿を目の当たりにし、授業が変わる→学級が変わる→学校が変わるという吉新校長先生の言葉の意味を具体的に実感することができました。

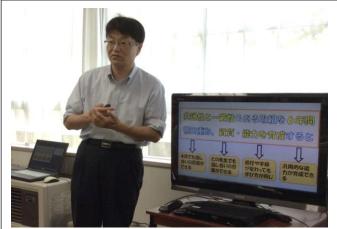
「授業を学校づくりの根幹に据え、子どもと共に創る授業」を私たちもさらに追究したい、そんな 思いを強くもった一日でした。

参観授業後の懇談を通して、川崎小学の先生方の話し合い活動を大事にした授業づくりについて 情報交換できたことは、私たちの日々の授業づくり、子どもと共に創る授業について、大きな刺激 となり、明日からの授業づくりに意欲をもった、そんな研修となりました。



◎在職8年目の吉新校長先生: 話し合いのできる学級集団、授業づくりについて熱く語られる。(理論家であり実践家)





◎みんなが主体的に授業に参加するための手立て→「全員挙手」





◎子どもたちで課題解決していく話し合い(相互指名・黒板で説明)



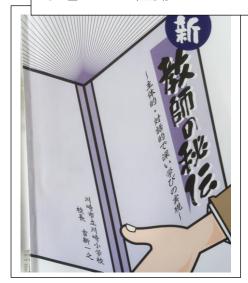


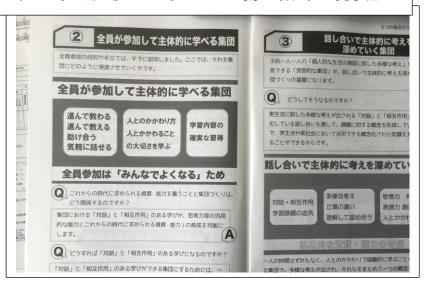
◎川崎小の先生方とグループ懇談(ザックバランに聴き合う・語り合う)





◎話し合い活動のためのコツ・ポイントがつまった「新・教師の秘伝」





川崎中学校は、川崎小学校の卒業生が全員進学する中学校です。(全校生徒4分の3は川崎小出身) 落ち着いた雰囲気の中で、生徒たちが前向きに授業に取り組んでいる姿から、学校教育目標 「自ら学び 自ら考え、自ら行動できる生徒を育てる」が具現されていることを強く感じました。

授業を参観しながら、先生方の肩に力の入らない、自然体で生徒に接する姿が心地よく、それが生徒の自然体を生み出し、生徒のつぶやきを生み、対話的な授業を創り出しているのだと思いました。

どの教室の雰囲気も柔らかく、素直な生徒達、課題にさっと取り組む姿、ノートや学習プリントへの 豊富な記述、隣同士での情報交換を素直に行う姿、そういった1つ1つの生徒たちの姿の中に、川崎中 学校で大事にされている「ともに学び、高めあう授業」の基盤が現れていると実感しました。

そんな基盤があるからこそ、欠席者が少なく、不登校生も1%という状況(中1・中3は不登校生0)を生み出し、学校へ来ることが楽しい、そんな学校づくりが展開されているんだなと学ばせていただきました。(全校生徒数381人で不登校生4人、欠席者がほとんどいない状況)

川崎中の先生方との懇談も、小中連携をどう生かしていくのがいいか、そういった視点での有意 義な情報交換ができたように思います。

◎ 共に学び合う姿が随所に見られる(教室の空気が柔らかい)



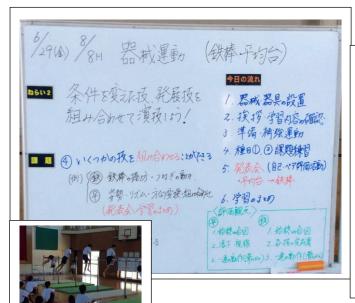


◎隣同士の男女の情報交換も自然体、素直な生徒達、欠席者・不登校が少ない





◎ 体育科の板書が分かりやすい



◎ 川崎中の先生方と 小中連携の可能性を語り合う



今回の研修の参加者全員、二つの学校を参観し、多くのことを学ぶことができました。また、 2 1名の先生方の積極的に質問し、自ら学ぼうとする姿勢に、すばらしい研修の機会であったと感 じることができました。

今回の研修は、若い先生方や女性の先生方の参加が多く、少しずつ同じ学校の職員同士のように親しくなり、実践を語り、思いを語り合う姿に、上伊那の先生方が「つながり合う」という意味で貴重な研修の機会であることを実感することができました。

こうしたつながりがこれからの上伊那の教育を支えていくための力となっていくように感じられました。



参加した先生方(川崎中学校入口で)

なお、「県外教育関係機関研修 in 川崎」については10月29日に予定している報告座談会で詳しく報告する予定です。多くの会員の皆さんにご参加いただき、いっしょに学び合いたいと思っています。また、研修報告は、雑誌「上伊那教育」137号に、座談会の様子については、138号に掲載予定です。

乞う ご期待。